

各種専門委員会役員選任および新委員会の設立について <議案資料1>

日本連盟理事会

以下の役員の選任および新委員会設立を提案する。

国際交流委員会

副委員長 丁 傑

ジュニア普及委員会

委員長 中村 剛
副委員長 竹中 保仁

選手強化委員会

委員長 孔 祥東
ジュニアヘッドコーチ 神庭 裕里
強化コーチ 内田 愛
関屋 賢大
市来崎大祐
倫理委員会委員長 孔 祥東

伝統武術委員会 ※新設

委員長 谷川 大
副委員長 上り浜誠一
李 自力
陸 瑤

2019年からの国体公開競技開催に向けた提案

<議案資料2>

国体委員会

国体委員会では、各ブロックの国体選抜大会への参加状況を顧み、大会成功に向けての機運を高めるため、以下の変更を提案します。

提案1. 「茨城国体の出場選手について、ブロック選抜以外に都道府県連盟が出場選手枠に基づいて追加推薦申込み可能にする(案)」の件

国体選抜とJOCジュニアオリンピックカップ大会選抜が同時開催される等の影響により、出場選手のない種目があると考えられる。積極的な参加を促すため、各都道府県連盟から選抜枠が空いている種目に限り、選手を追加推薦可能にすることを提案する。

申込期限を設け、期限内に限り推薦可能とし、今年度は2019年2月15日(金)を期限として多くの出場を募る。また次年度以降は、ブロック選抜大会後1ヵ月以内の手続き期限を提案する。

提案2. 「鹿児島国体からの種目内容変更(案)」の件
選抜大会の参加状況や実際の競技内容を顧み、2020年鹿児島大会からの年齢規定の変更と国体競技見直しを提案する。

種目の見直し:

シニア 太極拳推手套路 → ペア24式太極拳(自選)
成年 26式太極拳 → 総合太極拳(自選)
国際第一套路長拳 → 自選長拳
少年 初級長拳 → 国際第一套路長拳

年齢の見直し:

シニア (30歳以上59歳以下) → (40歳以上59歳以下)
成年 (18歳以上29歳以下) → (18歳以上39歳以下)

提案3. 「少年の部の参加資格に中学3年生を含む変更(案)」の件

調査の結果、茨城国体の正式競技37のうち19の競技団体が、中学3年生に限り少年の部の年齢下限基準を1年開いて出場を可能としている。武術太極拳においても、参加人数を拡充し、より広く選手の参加を促すため、選手の年齢基準についての見直しを提案する。

なお、茨城国体は選抜選手を優先し、推薦選手がある場合のみ中学3年生の出場を可能とする。

6(2) 少年の部に参加できる選手は、2001年4月2日から2005年4月1日の期間に出生した者(14歳以上17歳以下)とし、2004年4月2日から2005年4月1日の期間に出生した中学3年生を含むものとする。

提案4. 「都道府県大会での国体選抜実施(案)」の件

2020年以降(2021年三重大会)からの国体代表選抜は、ブロック大会ではなく、都道府県大会でこれまでの全日本種目に国体種目を加えての開催とする。都道府県大会での実施に関しては、審判委員会が国体ルールの運営について整備を進める。